

【狂愛ヤンデレ】恐怖より快楽で縛ってあげる  
～8年越しに再会した元カレの、手錠と淫らな監禁支配～

サンプル（一部抜粋）

「久しぶり。奇遇だな。」

「...そうだな。  
大学卒業して以来...か。」

「...というか、顔、怪我してるけどどうした？」

（数秒の沈黙・ゆっくりと隣の席に女性が座る音）

「...彼氏が怖い...って？  
.....殴られたりしてるのか。」

「...ああ、彼氏が怖くて別れられないって？  
...なるほどな。  
...偶然会ったのも何かの縁だろ。話くらい聞くよ。  
ほら、酒でも飲もう。」

---

「...で、この彼氏の元に帰るのか？」

「...帰りたくはない...か。  
うーん...。  
じゃあ行こうか。」

「...どこに行くのって...  
俺の家だよ？」

---

「...ん？  
ああ、『大学の時の俺はもっと優しくかったのに』って？」

（皮肉っぽく、低く吹き出したように笑う）

「そうだね。  
あの頃の俺は、唯が大切に傷つけたくなくて...壊さないように、おそろおそろ触れていたもんな。  
...でも、その結果どうなった？」

---

「あの時からもう8年...か。  
...俺はな、もう一度お前を捕まえるために、お前がそのクソみたいな彼氏と冷めきって、ど  
ん底に落ちるのを...ずーっと待っていたんだよ。」